

共通ID導入に伴う ISPメール観点のリスクと対策

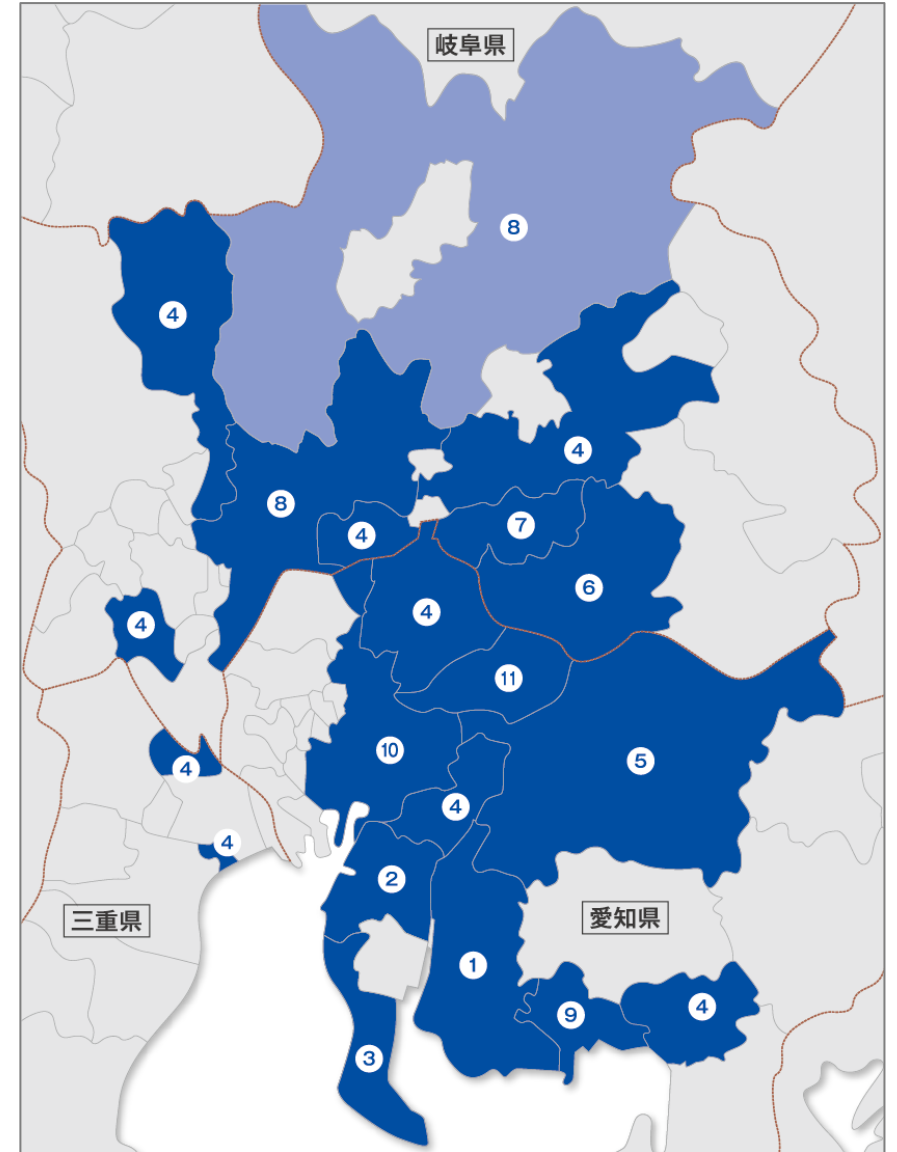
2022年11月8日 JPAAWG 5th @長崎
株式会社コミュニティネットワークセンター
ニコライ ボヤジエフ



(株)コミュニティネットワークセンターについて

東海地方のCATV局11社のグループ会社を中心に、下記のサービスを展開しています。

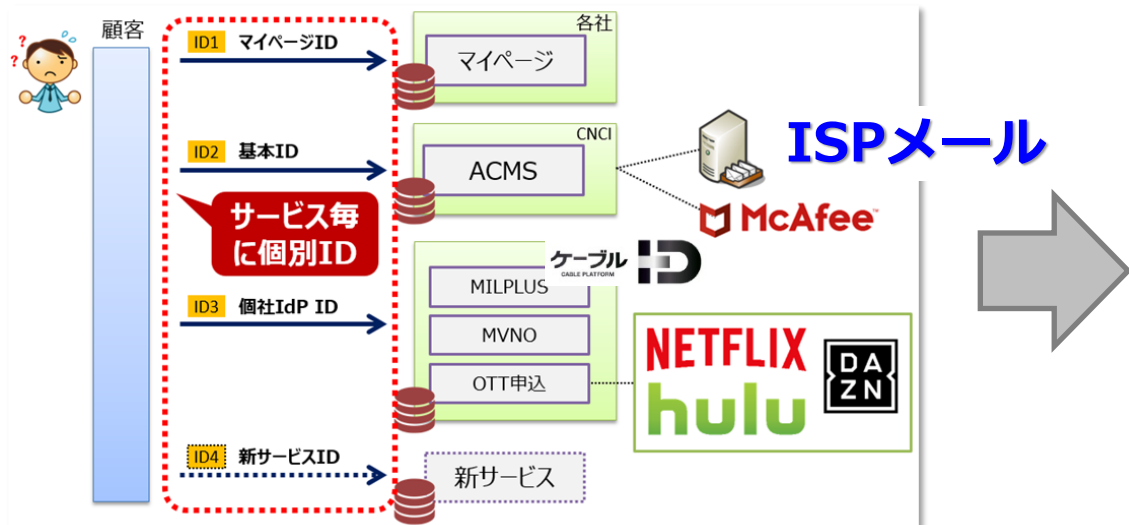
- ・ 放送配信サービス
- ・ **通信サービス** → **所謂 ISP**
- ・ CATV局向けソリューション
& 技術支援サービス
- ・ 番組・物品共同調達



※複製・転載・流用・転売・複写等することを固く禁じます

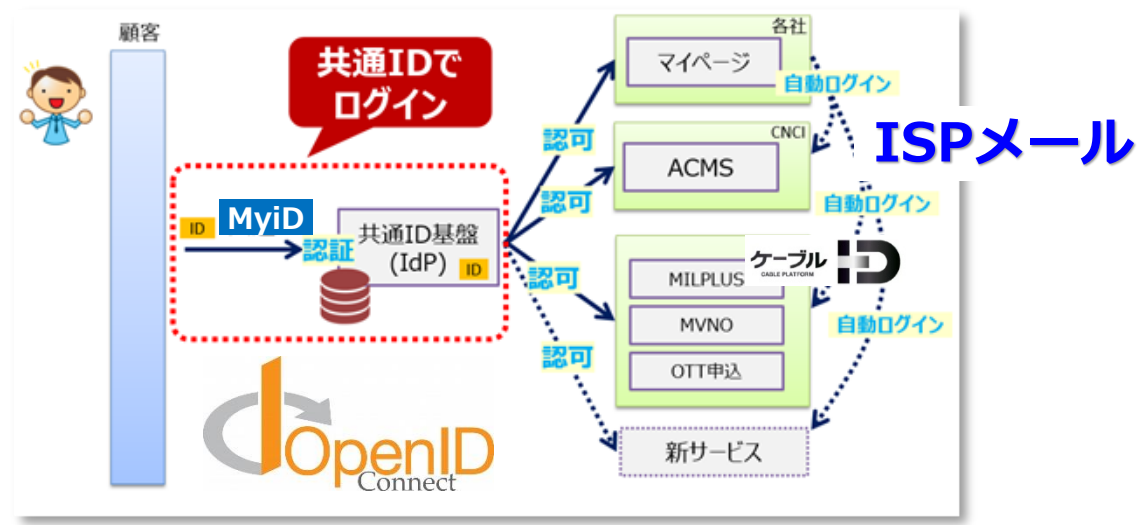
【MyiD導入前】

- 各社毎に**複数のID発行**。(ばらばらでアクセスしづらい)
- オンラインセルフサービス(登録、利用)できず**、郵送通知要



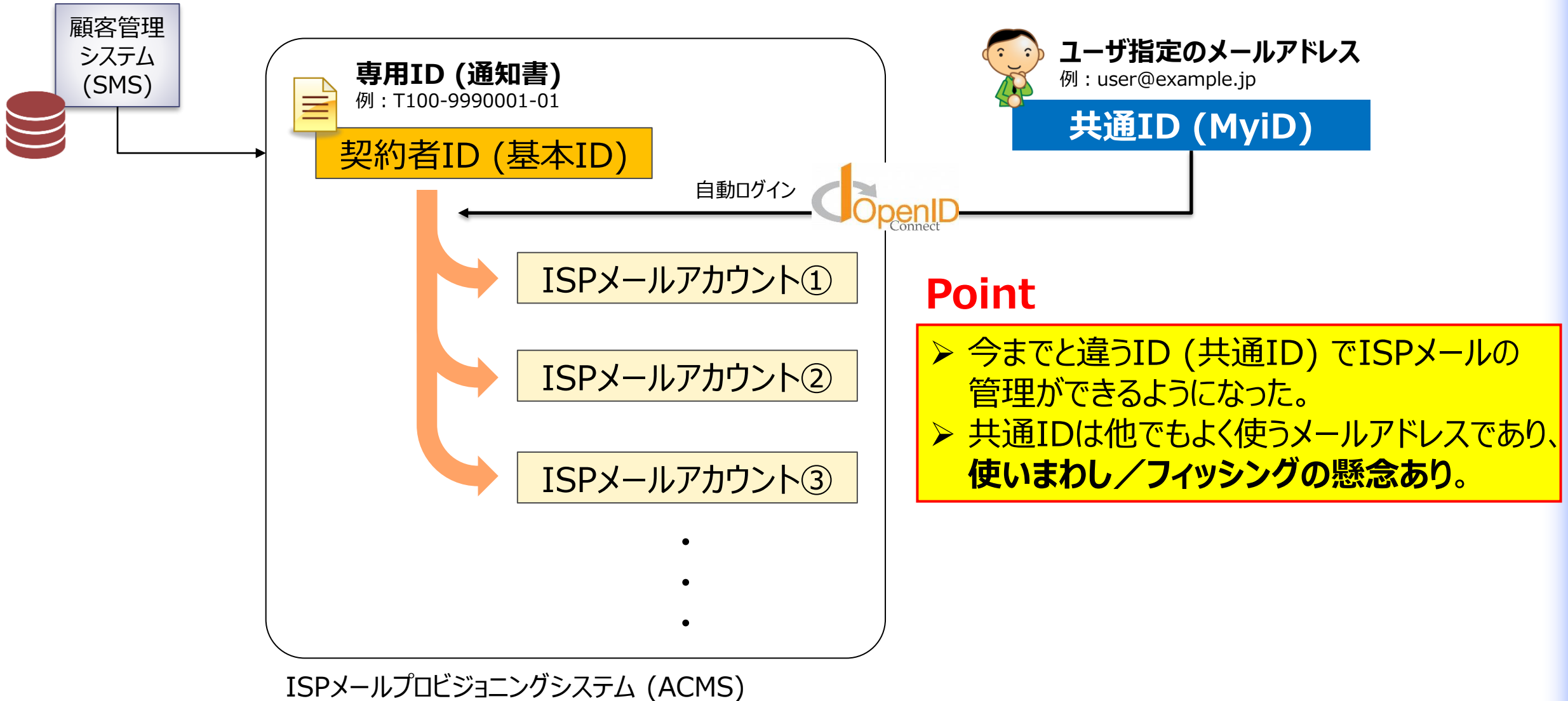
【MyiD導入後】

- 顧客利便性向上 (1つのID、セルフ登録可)**、CX向上
- 利用促進** (事業者目線では、アップセル、送客、サービス導入速度向上)
- WEBでサポート可能に** (事業者目線では、郵送コスト、開発コスト低減)



- ◆ 契約者情報参照で本人を確認し、オンラインでID作成
- ◆ 好きなメールアドレスをIDとして使える (ISPメールに限らず)

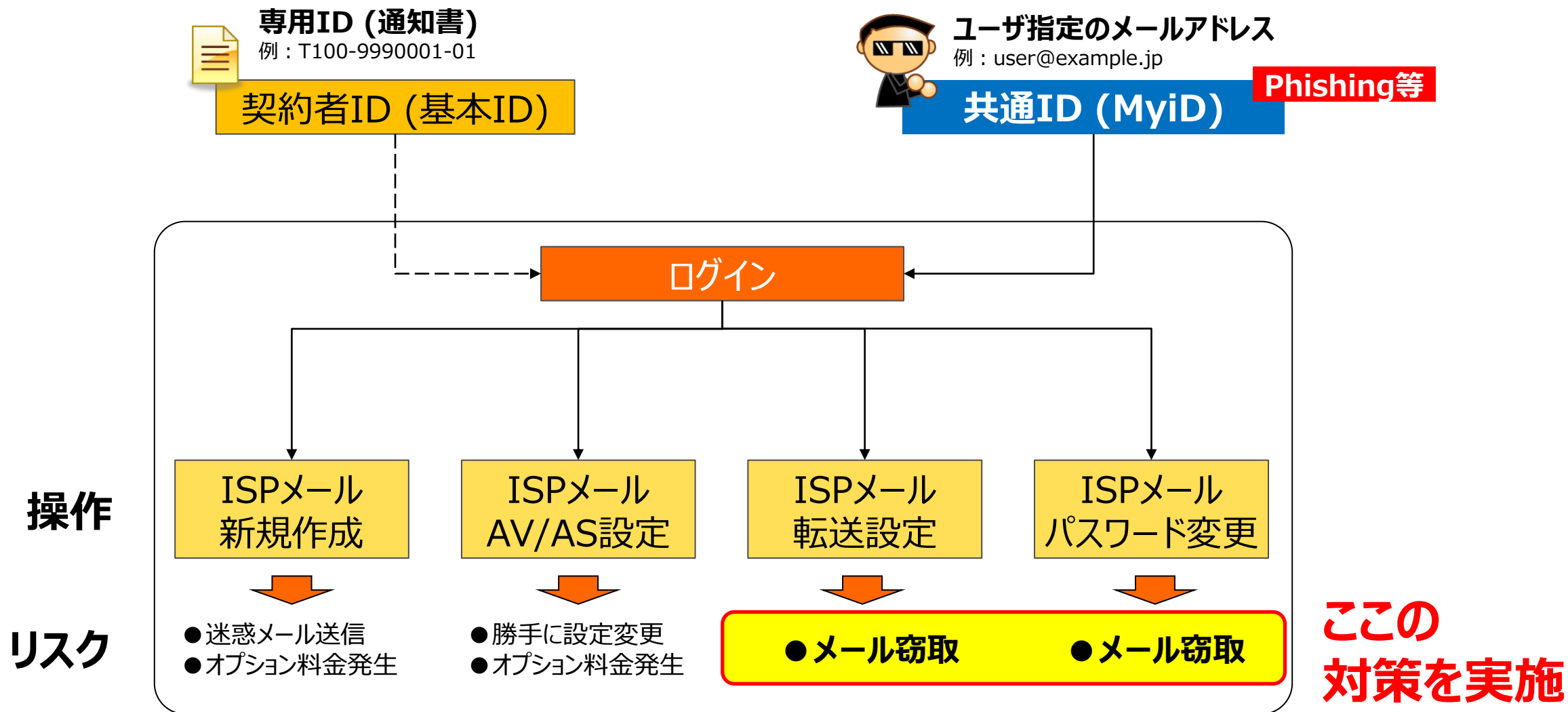
ISPメール観点のリスク



Point

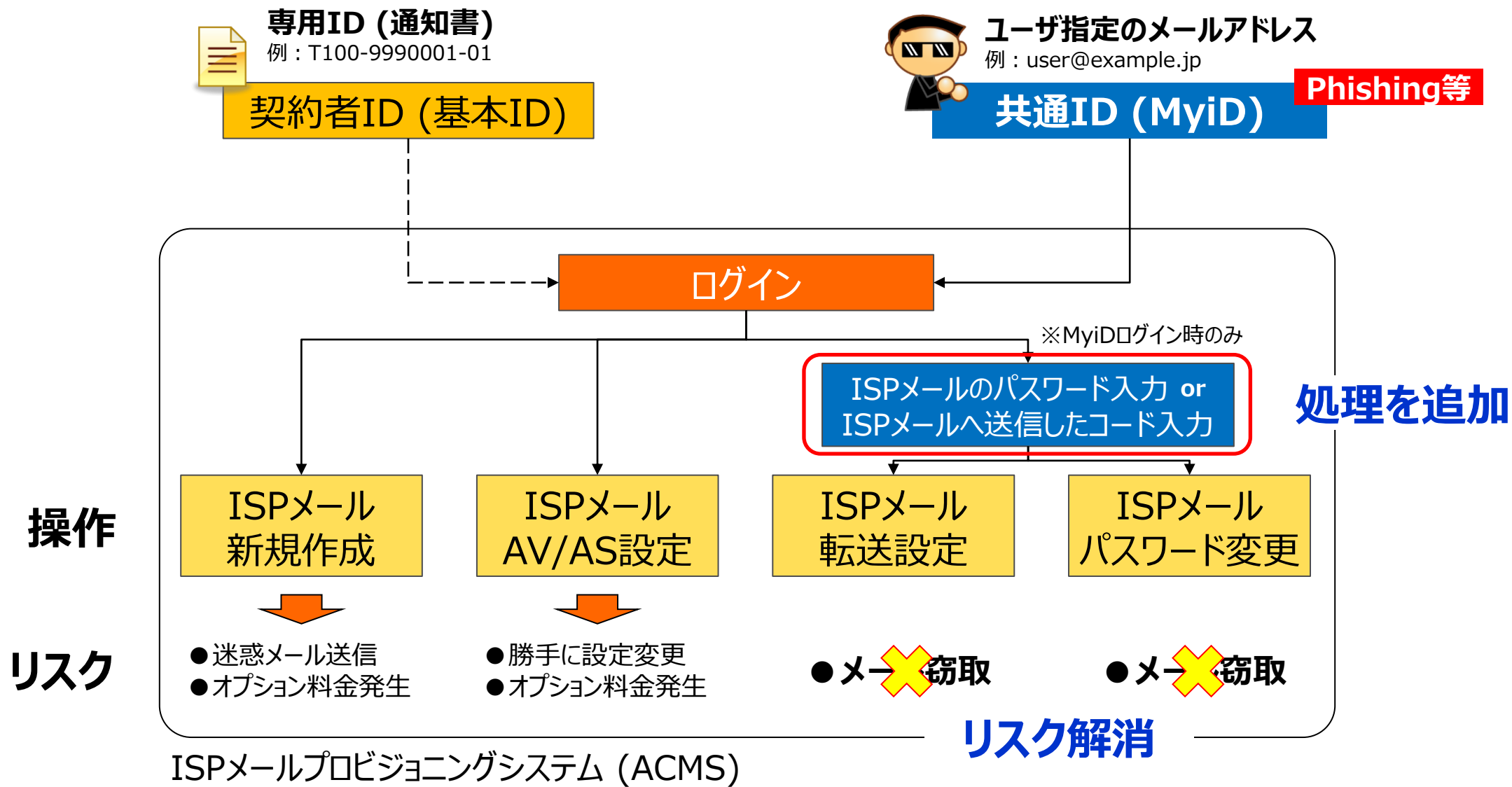
- 今までと違うID (共通ID) でISPメールの管理ができるようになった。
- 共通IDは他でもよく使うメールアドレスであり、**使いまわし/フィッシングの懸念あり。**

ISPメール観点のリスク及び対策



ISPメールプロビジョニングシステム (ACMS)

ISPメール観点のリスク及び対策



- 共通ID (MyiD) の IdP で二要素認証導入
- 二要素認証ユーザの制限緩和
- 利便性とセキュリティのバランスが重要…